



ラッキョに似ている。

愛称「ラッキョ自動車」

軽便鉄道(鞆鉄道)は1913年(大正2年)野上駅~鞆駅間の開通。1931年(昭和6年)には福山駅まで開通。福山~鞆間の約12.5kmを45分で結んだ。時代の流れと共に自動車の発達によって1954年(昭和29年)3月に廃止された。

昔を大調査!! 福山鞆鉄道新聞

大発見! 川が2つあったなんて!!

昔は、この辺りから、たか取川(市内側)と芦田川(山側)に分かれていた。芦田川は今の芦田川より川幅が狭かった。1921年(大正10年)からの治水工事により、たか取川をうめ立て、芦田川の川幅を広げた。それにより、妙見~野上間が新河川敷と名づけた線路を付けかえた。



野上駅跡地にはこんな看板がある。

おじいちゃんにインタビュー

鞆鉄道が13歳まで動いていたというおじいちゃん(昭和6年福山生まれ)に聞いてみた。

昔話その①
小さいころ家の前は、たか取川だった。きれいな川で魚を釣ったり泳いだりしていた。

昔話その②
しかし、治水工事が始まって、川がにごりどぶ川みたいになって、最後は埋め立てられた。

昔話その③
川で泳げなくなったので、鞆鉄道に乗って、鞆まで海水浴に行くようになった。

昔話その④
鞆までの途中の三分坂は、傾斜がきつくて、満員の自動車は登れず、乗客が降りて線路に身をまいて滑りにくし、みんなて押し上げて上がったのを覚えている。

あとがき

ぼくは前にトモテツバスが昔、鞆鉄道という名前で、汽車が走っていたと聞いて、どの辺りを走っていたのかなあと気になっていました。でも、今回この新聞を作ってみて、よく分かりました。曾祖父母の家が古野上町にあり、近くを走っていると知った時はとてもおどろきました。また、祖父に鞆鉄道について調べていると話したら、いろいろ教えてもらったり一緒に跡地を回ったりしてとても分かりやすかったです。そして、ぼくが調べていて、一番の発見は川が2つあり、水害により、ルートが一度変わっていた事です。鉄道と歴史の関わりを知るとはとても楽しかったです。



福山 小学の星
8年 B組
杉航平



昭和初期の小川を渡るための鉄橋の橋台が現在も残っている。



ルート変更前の線路の橋台も残っている。

現在の三分坂。今の自動車なら簡単に登れたけど、自転車で登っている人は大変そうだった。

葛城
田尾村
金崎
鞆